

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター大平台担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 8年 1月 28日（水） 10時 00分 ～ 11時 30分
2 開催場所	篠原協働センター
3 参加者	入野地区6名・篠原地区7名・関係機関11名
4 協議の内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 新規委員の紹介</p> <p>R7. 12月の民生委員の改選により委員変更あり。</p> <p>3. 前回までの振り返り</p> <p>4. 協議事項・グループワーク</p> <p>①高齢者のサポート(ゴミ出し)</p> <p>前回までの協議体会議を踏まえ、事務局からJSTADマップを活用したゴミ集積場マップを紹介。距離的にゴミ出しに困っている家・エリアは無い、図面上で可視化。そこから現状や課題を見出し、事務局目線ではあるが協議体会議を中心に出来そうなことを提案し、それについて各地区に分かれてグループワーク・意見交換を行った。</p> <p>◆入野地区</p> <p>【提案内容】</p> <p>ゴミ出しに困っている人の自治会や民生委員に本人もしくは支援機関から連絡し、その方のゴミ出しについて地域で支援ができるか、話し合える仕組みを作る。</p> <p>【グループワークで出た意見】</p> <p>○サロンや民生委員の活動で、ゴミ出しに困っている声を聞かない ⇒表立って出てこない近隣同士の助け合いがある</p> <p>○単位自治会への話し合いの声掛け ⇒世帯数が多いことによる把握の難しさ、自治会未加入者への対応 ⇒単位自治会や民児協、地区社協への説明会を試みる</p> <p>○集積所の調整・変更を話し合える体制はある ⇒それでも困っている声を聞かない</p> <p>○近所の高齢者にゴミ出しが大変であれば玄関先に出しておくよう声掛けをしている ⇒今はリハビリがてら当人たちが捨てに行っている 等</p>

【今後の方向性】

提案内容について皆さんから賛成の声が多くあった。

今後、まずは自治会連合会で時間をもらい、協議体の内容について説明。ゴミ出しの課題については、もしゴミ出しに困っている人があれば自治会や民生委員、関係機関などで話し合いの場を持ちたいという内容を説明しに行く。

◆篠原地区

【提案内容】

○家事支援協力員を増やすため、ボランティア養成講座を実施

○ゴミ集積所が少なく協力員が近所にいない地区については、その人の家の近くで協力員を探す仕組みを作る

【グループワークで出た意見】

馬郡町でゴミ集積場が少ない+家事支援依頼者が多い+家事支援協力員が少ない
且つ依頼者の近所に依頼者が少ないという実情がある。他の町はそれなりに集積所があり、家事支援依頼者は少なく協力員も充足している。

そのため、馬郡町に絞ってボランティア養成講座や依頼者の近所に既に登録している協力員がいない場合には、隣保で協力してくれる人がいないか、自治会を中心に探す仕組みを作りたい。

【今後の方向性】

篠原地区では既に地区社協がゴミ出し支援を実施しているが、馬郡町で課題があるため、自治会を中心に馬郡町でのゴミ出し支援ボランティアを増やすため話し合いをしていく。

※今回は「高齢者のサポート(ゴミ出し)」に絞って協議を行った。

5. 連絡事項

○次回(令和8年度 第1回)協議体会議 予定

日時：令和8年6月下旬

会場：入野協働センター

6. 閉会

<p>5 今後の見通し・必要な対応</p>	
<p>ゴミ出しの課題について、今回の協議体会議で今後の方向性を定めることができ、今後は両地区とも前途報告にあるような動きをしていく。両地区とも、現状抱える地域課題を、自治会や民生委員・地区社協と関係機関で話し合いが出来る場(仕組み)を設けるための土台作りをこの1年間で取り組むことが出来た。</p> <p>今後はもう一つのテーマである「地区社協活動のPR・継続に向けて」という内容について、来年度も引き続き協議していきたい。</p>	

必要に応じて欄を広げてください。